

数学科（数学Ⅰ） 学習指導案						
日 時		令和7年6月11日（水）2限目		授業者	阪本 武士	
学年・組		1 年 4 組	教 室	1 4 教室	教科書	最新数学Ⅰ（数研出版）
単 元		2次関数		内容のまとめり		2次関数とグラフ
単元の目標	関数の概念を理解し、関数のグラフをかくことの意義がわかる。 2次関数の式を平方完成することができ、グラフをかくことができる。			指導計画	1 関数・・・・・・・・・・・・・・・・1時間	
					2 関数とグラフ・・・・・・・・・・・・1時間	
単元の評価規準	知識・技能 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかくためには、 $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形する必要があることを理解し、その計算とグラフをかくことができる。 思考・判断・表現 2次関数のグラフの平行移動は、頂点の移動を考察すればよいことを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ について、頂点の座標を考察しようとする。			画	3 $y=ax^2$ のグラフ・・・・・・・・・・・・1時間	
					4 $y=ax^2+q$ のグラフ・・・・・・1時間	
					5 $y=a(x-p)^2$ のグラフ・・・・1時間	
					6 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ・・1時間	
				7 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ・・・・2時間 (本時はその1時間目)		

本時の指導

主題（教材）	平方完成を利用して、グラフをかけるようにする。				
前時の課題	平方完成を理解している。				
本時の目標	2次式の平方完成ができる。 平方完成を利用して、2次関数のグラフがかける				
評価規準	2次式の平方完成ができ、グラフがかける。（知・技）				
指導過程	学 習 活 動		時間	指導上の留意事項	評価方法、資料等
	導入	1 前時の学習内容を確認する。	10	・一般形から基本形への式変形が平方完成であることを理解させる。 ・半分にすることは、2分の1倍することを理解させる。	・PC ・プロジェクタ
		2 本時の学習内容を確認する。			
	展開	1 例題4を解く。 2乗の係数が1の場合との違いを踏まえて、どこがポイントとなり、どのような変形になっているか考える。	15	・式変形を提示し、ポイントとなるところに注目させる。 ・ x^2 の係数をくくりだすことを理解させる。 ・グラフのかき方を確認する。	・PC ・プロジェクタ
		2 練習13を解く。 グループで問題を解き、発表する。	20		
	整理	1 本時のまとめを行う。 2 次時の学習内容を確認する。	5	・本時の内容が理解できているか確認させる。	【評価方法】 ○発表内容 （思・判・表）
備考	情報ビジネス科 生徒数40名				